

2023  
年度

# 活動 報告書



# 2023年度を 振り返って

2024年元日に起きた能登半島地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。冬から春を通り越して早くも4月に夏日を迎える気候の中、復旧活動も過酷さを増すと推察されますが、1日でも早い被災地の復興を心から祈念致します。

微力ではありますが弊会でも継続的な支援を続けていれどと考えています。

2023年度の弊会の活動を振り返ると、リユース活動の可能性の広がりを感じられた1年となりました。以前より、「リユース活動」×「障がい者支援」を掲げて福祉団体との連携店舗の立ち上げを進めてきましたが、2023年は2団体との新たな連携が生まれました。

また、それ以外ではシングルマザーの方々の居住支援をされている団体との連携が始まり、弊会の直営店舗でのお買い物の際、連携する団体の会員証をご提示いただければ割引価格でお買い物をしていただけるという試みもスタートしました。シングル世帯に住む場所を提供する団体と、生活物資の提供ができる弊会が連携することでシングル世帯が抱える課題を少しでも和らげることができればと考えています。

新たな団体との関係性が構築される度に、普段自分が見えていない社会課題に気づかされ、自分たちの存在意義を見返すきっかけをいただいているような感じがします。

一つ一つの団体ができることは限られていますが、それらが連携することで、この地域で課題を抱えている、一人でも多くの方の支援につながればと考えています。

今年度も各現場を支えてくださったボランティアの皆さま、ご支援いただきました会員の皆さま、団体の皆さまへ、この場をお借りして感謝申し上げます。

代表理事 永田 秀和



# 2023年度活動

中部リサイクル運動市民の会では、2023年度に以下の活動を実施することができました。皆さまのご協力・ご支援に心より感謝するとともに、その内容と成果の一部を「活動報告1～5」でご報告します。

## ● 障がい者の就労支援に関する事業

リユース&リサイクルステーション・Re☆創庫での障がい者の活動受け入れ、Re☆ショップの共同運営など

## ● ごみ減量に関する事業

リユース&リサイクルステーションの運営、Re☆創庫(りそうこ)・Re☆ショップ(りしょっぷ)の運営、行政との連携によるリユースのしくみづくりなど

## ● 環境に関する知識の普及及び啓発事業

環境教育活動、記念日植樹券プレゼント事業など

## ● 開発途上国・地域における環境・社会問題解決に関する活動

国際協力機構(JICA)による開発途上国向け廃棄物管理研修の企画運営など

## ● 地域循環型市民社会システムと場づくりに関する事業

非営利団体とのネットワークへの参画、環境配慮型商品の普及など

## ● 災害時の物資供給や救援に関する事業

被災地への募金活動など

## ● 古着利用に関する新規事業の種まき

## 活動報告-1 障がい者の就労支援に関する事業

### 活動報告1-1 障がい者就労支援施設との連携 Re☆ショップ 2店開設

「リユース活動」×「障がい者支援」の取り組みを拡げるため、福祉団体向けの説明会を昨年5月に開催しました。広報は、「名古屋市障害者就労支援窓口ウェルジョブなごや」にご協力いただき、連携店舗としてのRe☆ショップ開設に関心を持った3つの福祉団体が参加されました。

説明会では、Re☆ショップなかたを運営するNPO法人アダージョちくさ 富田副代表にもご協力いただき、Re☆ショップ開設までの流れ、開設後の作業内容などを詳しくお話いただきました。直営店舗を立ち上げるには多額の費用がかかるため、財政基盤が脆弱な我々にはハードルが高く、就労支援施設を運営している団体が既存の施設の一部を店舗

として活用いただくことで、双方にメリットが生まれると考えています。嬉しいことに、説明会にご参加いただいた3団体中2団体とRe☆ショップをオープンさせることができましたので、その声をお届けいたします。



2023年8月名古屋市天白区にオープンしたRe☆ショップあいおいやま。NPO法人あたたかい心が運営する「Oz(オズ)」(就労継続支援B型施設)との連携店です。



2023年10月名古屋市昭和区にオープンしたRe☆ショップさくらやま。社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会が運営するサポートセンター-being桜山(就労継続支援B型施設)との連携店です。

### 担当者の声



利用者さんの可能性を増やすために何かできないか?と考えていた時にRe☆ショップ店舗運営のお話をいただきました。中部リサイクルさんのバックアップの下でショップを運営できるのであればぜひやってみよう!と決断しました。お客様はまだまだ少ないですが、売上よりも大きな収穫がありました。利用者さんが生き生きとし出しました。週に1日来れていたかどうかであった方が、毎日来所できるようになって、ディスプレイやInstagramに積極的に参加してくれたり、もっとこうしてはどうか?など提案をしてくれたりやりがいが出て輝いています。これからも、利用者さんのやりがい探しを続けていきたいと思います。(Re☆ショップあいおいやま/管理者: 山本 卓司さん)

### 担当者の声



Re☆ショップさくらやまはオープンして半年以上が経過しました。店舗の運営面では、常連のお客様も増えてきていて、ゆっくりゆっくりですが地域に広まってきた実感があります。しかし、売り上げはまだまだ伸び悩んでいるので、今後も様々な方にアドバイスをいただきながら、お客様に楽しんでいただけるような店舗作りを目指します。また、それと同時にショップで働く利用者さんにとっても楽しく働ける場所でありたいと思っています。現在、5名の利用者さんがシフト制でショップに入って仕事をしています。毎日、「お客さんが来てくれた!」「たくさん買ってってくれたよ～」と笑顔で報告をしてくれます。その笑顔を決して絶やさず、よりよい環境を提供していきたいです。(Re☆ショップさくらやま/スタッフ)

## 活動報告-2 ごみ減量に関する事業

### 活動報告2-1 リユース&リサイクルステーション

家庭から排出される10品目のリサイクル資源と12品目のリユース品を、スーパーマーケットなどの駐車場で定期的に回収する活動です。「リサイクルステーション」としては1991年から継続実施しています。市民・企業・行政・メディア・NPOがそれぞれの役割を担い、この活動を支えています。2024年4月現在、名古屋市内に常設会場を含め26会場あります。2023年度のリサイクル資源の回収量(常設会場を除く)は477トン(前年比83%)でした。

#### ●活動実績(3か年比較)

	2023年度	2022年度	2021年度
会場数	26会場	26会場	27会場
総回収量	477トン	575トン	680トン
延べ開催回数	724回	758回	765回
延べ持ち込み件数	48,052件	50,051件	59,183件
延べリユース受付件数	9,707件	10,918件	13,434件

この地域の資源回収の流れとして、コンビニエンスストアやちょっとした空き地に常設の古紙回収ボックスの設置が進んでおり、市民の皆さんの利便性が高まっています。

また、スマートフォンの普及による紙媒体の減少による影響でリユース&リサイクルステーションの古紙回収量の減少は今後も続くことが予想されます。

(代表理事/永田秀和)

#### 担当者の声



市民リサイクラーさんはじめ多くの方々のご協力で2023年もリユース&リサイクルステーションを運営することができました。皆さん、ご協力ありがとうございました。

年々熱くなる夏の暑さ対策として、各会場にクーラーボックスに入れたかち割氷を配ることを始めました。近年の猛暑はステーションを始めた30年前には想像もできなかったことですが、環境負荷の少ないライフスタイルを心がけることの重要性を今更ながら痛感しています。

将来世代のためにも、今できることを実践してきましょう。

(代表理事/永田 秀和)

### 活動報告2-2 物流センター

2019年に、それまで各店舗で実施していた寄付品の仕分け・値付け作業を一か所で集中して行うことで、リユース事業全体の効率化を図ることを目的に立ち上げた施設です。

2023年度は、スタッフ5名、運搬スタッフ4名、市民リサイクラー16名で運営しました。(2024年3月現在)

管轄業務として、

- ①全ての寄付品の仕分け・一部値付け・保管
  - ②各店舗(直営店3店舗・他団体との連携店舗4店舗(2024年3月現在)へのリユース商品の発送(毎週)
  - ③食器などの海外リユース
  - ④ステーションで回収した資源の運搬
  - ⑤リユース&リサイクルステーションの備品運搬
- などを実施しています。

2023年度は、みなさんから寄付いただいたものの中で、Re☆ショップでは販売しづらいものの出口対策として、民間の買い取り店への持ち込みを試みました。自分たちだけでリユースを完結させるには限界があり、リユースできない

ものの処理費用の面からも多様な出口を持つことが重要だと考えています。

(代表理事/永田 秀和)



民間の買い取り店に持ち込んだ品々

#### 担当者の声



2023年度は9月末までボランティアとして、10月からはスタッフとして活動させていただきました。立場が変わり、どう接すればいいか悩みましたが、変わらず接してもらえて、安心して仕事のできたので良かったです。

10月からは、お客様と関わる機会も増え、説明が上手くできるか心配でしたが、分からないことをスタッフに聞き、落ち着いて説明できました。2024年度はより自分ができることを増やし貢献できるよう頑張りたいです。(担当/青木 克憲)

## 活動報告2-3 エコロジーセンターRe☆創庫あつた & Re☆ショップあつた

2023年度の施設利用者は述べ16045名、リユース点数は69625点、リユース売り上げは約1437万円でした。マネージャー1名、サブマネージャー2名、7名の市民リサイクラーで運営しました。

売り上げ額はほぼ横ばいでしたが、利用者数が一年を通じて1日あたり6名程度減少していることになりました。Re☆ショップあつたは他の直営店と比べて売り場面積が広く、展示数が多いためにそれぞれが複数の担当を受け持っています。月に一度の会議の折にレイアウトの見直しや展示の工夫を重ねました。

### 担当者の声



2023年度は試行錯誤の一年となりました。新たな方法でのアピールをスタッフ全員で取り組みました。毎夜夢に出てくる場面はショップばかりで我ながら呆れました。

今後の課題は世代交代です。スタッフも高齢化が進んでおり作業内容も変えていかざるを得ません。今日もお客様との会話を通じて元気をもらっています。ありがたいことです。

(サブマネージャー／山田 美由紀)

今年1月からは初めての試みで一品15%オフのイチゴクーポンの配布を始め、毎週お楽しみ半額デーのキラキラ月曜日を設けました。少しずつではありますが手応えを感じられるようになっています。

6月には14周年記念フェアを予定しています。企画を考え日頃からアピールを心掛け、一人でも多くのお客様に足を運んでいただけるようスタッフ一同笑顔でお迎えしたいです。

(サブマネージャー／山田 美由紀)



店舗を支えるメンバーたちです

## 活動報告2-4 Re☆ショップさくら

2023年12月、9年8か月営業していた南区西桜町の店舗を移転のため一旦閉店し、2024年2月より、南区松城町にて再スタートを切りました。1月は休店したので11ヵ月分の数字になりますが、利用者数延べ12476名、リユース点数51915点、リユース売上約1287万円、マネージャー1名、リサイクラー10名で活動しました。

新店舗でのリニューアルオープンの際、馴染みのお客様も7割ほど来店してくれ、賑やかなオープンになりました。



昨年、旧店舗で行った9周年フェアの様子。人数制限は午前中続きました

幸い好立地だったので、新しいお客さんも順調に増えています。新しい地域にも早く溶け込めるように、クーポン券配布やイベントをこまめに行いました。Lineのお友だち登録も増えました。このお友だち登録を最大限利用できるように、こまめに発信しています。

また、子ども連れや子どもだけの来店もあり、今までと違うモノが売れているので、おもちゃを窓から見える場所に置くなど店内のレイアウトも工夫しています。近くには、外国人の方の研修施設もあるので、国際色も豊かになりました。

(マネージャー／浅井 久美)

### 担当者の声



移転の話聞いたときは、不安でいっぱいでした。でも、幸いなことに新店舗は、人通りがあり、とてもわかりやすい場所で、通りすがりの人も立ち寄ってくれます。この好条件を最大限に生かすために、たくさん楽しい企画を考えて売上増に繋がります!ピンチをチャンスに!!この精神で頑張ります!

(マネージャー／浅井 久美)

## 活動報告2-5 Re☆ショップよしの

2014年にオープンした、資源回収を行わずリユース品の販売と受付のみを行う店舗です。2023年度の施設利用者は延べ8217人、リユース点数25935点、リユース売上は587万円となりました。2023年度はマネージャー1名、サブマネージャー1名、市民リサイクラー13名で運営しました。

### 担当者の声

ここ最近、新しい方や小さなお子さま連れの方など新たな層のお客さまが増え始めました。今後は、色々な年代の方に楽しんでいただけるようなお店作りを市民リサイクラーの皆さんと一緒に考えていきたいと思います。(マネージャー/松原 和江)



(2024年3月末現在)

2023年の新たな試みとして、7月より、公式LINEのアカウントを取得し、最新の情報を発信するようにしました。それ以外にも、2月より、5のつく日にいちごクーポン券(1点のみ15%OFF)の配布をはじめ、来店するきっかけ作りになるよう取り組みました。



お客さまに着付けをしていただいた振袖

## 活動報告2-6 Re☆ショップなかた by ぐるっぺ

千種区に2020年9月にオープンした、障がい者作業訓練を行っている「NPO法人アダージョちくさ」を運営主体とした店舗です。2023年1月に移転し現在の場所で再スタートしました。2023年度の施設利用者数は延べ5192人、リユース



仲田商店街夏祭りの様子

点数11553点、リユース売上は399万円となりました。

2023年度はコロナ禍で長らく休止していた商店街の夏祭りや区民祭り、病院の文化祭などが続々と再開したため、出張販売や土日の夜間営業を行い例年とはまた違った層にもアピールできたのではないかと思います。

### 担当者の声

新年度になり、障がい者スタッフ7~8名とあつたさんとさくらさんへ研修ツアーでお邪魔しました。リユースにかける想いや売り場の工夫などたくさんお話を聞くことができ、更に店作りが楽しくなりそうです。(Re☆ショップなかたスタッフ/駒井 可奈子さん)



## 活動報告2-7 Re☆ショップとよあけ by PlayWork

豊明市でリユース品の販売と受付、古紙回収ステーション、フードドライブ支援活動を行っている店舗です。2023年度の施設利用者数は811人、リユース点数3043点、リユース売り上げは82万円となりました。

店舗内もお買い物しやすいようレイアウトを変えるなど、

### 担当者の声

SNSを見て、県外からもリユース品やフードドライブの寄付が届きます。活動を広く知ってもらえるようになってきたので、実際にお店に足を運んでいただけるような工夫をしていきたいと思っています。(Re☆ショップとよあけスタッフ/中西 芳美さん)



もっと利用しやすくしていきたいと考えています。

リユース品やフードドライブの寄付が増大し定着してきました。安定して支援することができていますので、ご協力をいただいた方に感謝しております。

これからも地域密着で多様な利便性を提供していきたいです。



商品を見やすいようにレイアウトを変更しました

市民へのリユース活動の普及を目的に、2023年9月28日付で名古屋市と中部リサイクル運動市民の会とで「リユース活動の促進に向けた実証実験に関する協定書」を締結し、リユースの新たな取り組みをスタートさせました。取り組み概要は、

- ①名古屋市が市民に呼びかけリユース品を回収
- ②名古屋市のメルカリショップス、中部リサイクルのRe☆ショップで販売

という内容です。

開催日は下記の3日間、回収場所は名古屋市が管理する南リサイクルプラザ(南区)、回収品目は家具・衣類・くつ・かばん・日用品などで、家具など大きなものは市が運営するメルカリショップスで販売し、それ以外の品目は弊会が市から譲渡を受けRe☆ショップで販売しました。

初回開催では、インターネットでの事前申し込みが必要だったことから、ネット環境に慣れていないお年寄りの利用が困難だったため、2回目以降は家具以外の品目は予約なしで

当日持ち込めるようにしました。また、利用者アンケートの結果から、回収品目の拡大を希望する声が多かったため、今後の改善に生かしたいと考えています。

2023年度 名古屋市リユース品回収実証事業結果

	回収量		リサイクル 又は廃棄	リユース		リユース実績	
	点数	重さ		販売可能数	海外リユース	販売点数	販売金額
2023/10.22 回収分	1645	286		1143	237	512	105695
2023/12.16 回収分	3312	726	692	1742	818	909	135735
2024/2.4 回収分	2164	410	478	1294	272	403	125322
合計	7121	1422		4179	1327	1824	366752

※重さは衣類と食器のみ計量。リユース実績は、それぞれの回収分を直営店で2か月間販売した調査結果



持ち込んだ市民が自ら仕分けBoxへ

活動報告-3 環境に関する知識の普及及び啓発事業

活動報告3-1 記念日植樹券プレゼント事業

本事業は2001年から中部電力(株)と協働で実施している事業です。2020年度に20周年を迎え、66,000人を超える方々と13のNPOとともに44万本以上の苗木を国内外に植樹してきました。

2023年度は、親子で森を楽しむ自然体験ツアーを実施。地域の森を守るNPO3団体にご協力いただき、11月3、5、18、23日の4日程8ツアーに240名を招待しました。この実績をもって2024年度からは、“森を楽しみ、森に学ぶ”次世代育成新企画を開始する予定です。(担当/三ツ松)



森を楽しむツアーのようす

活動報告-4 開発途上国・地域における環境・社会問題解決に関する活動

活動報告4-1 JICA廃棄物管理研修



豊明市の資源回収拠点を笠原理事のアテンドで視察

2023年度で9年目となる独立行政法人国際協力機構(JICA)からの受託事業です。今回の研修期間は11月27日~12月15日の約3週間。対象国はナイジェリア、ウガンダ、ジンバブエ、アンゴラ、南スーダン5か国で、各国から1名ずつが参加しました。研修員は自治体や国の廃棄物管理者・担当者です。弊会がプログラムしたごみの収集・運搬、中間処理、埋立処分等の現場や企業・NPOが取り組む3R活動の視察、日本の廃棄物管理のしくみ等を学ぶ講義を熱心に受け、アンケートからは満足度の高さが伺える研修となりました。(担当/三ツ松)

## 活動報告-5 地域循環型市民社会システムと場づくりに関する事業

### 活動報告5-1 日本チャリティショップ・ネットワーク(JCSN)

JCSNは、チャリティショップ(以下、CS)の認知度を高め、不用品のリユースや社会貢献活動の支援等を促進し、「CS文化」を創ることを目指す全国ネットワークです。当会も会員となっており、2021年度からは事務局を担当しています。

CSのしくみが日本に紹介されて約30年。今、改めて当会が取り組む障がい者支援施設とのコラボ店運営、行政と連携するリユースの取り組みが注目されています。2023年度は、講演会やフォーラムに加えRe☆ショップなかたとあいおいやまの方を講師として、全国の会員と学びあう勉強会を実施しました。(担当/三ツ松)



B型作業所にとつてのRe☆ショップ運営効果を学ぶ

### 活動報告 事務局より

## NPO共同オフィスにアイキャンさんが加わりました!

当会では長年、事務所スペースの一部を他団体に提供して「NPO共同オフィス」を運営。ネットワークを広げて互いの活動の向上に活かしたいと考えています。昨年12月からは、新たに認定NPO法人アイキャンさんが仲間となりました。アイキャンさんは、フィリピンの子どもたちの生活支援、教育支援活動を行い、一人ひとりの「できること(ICAN)」を持ち寄って、よりよい社会をつくることを目指されています。



福田事務局長と活動地の子どもたち

活動について詳しくは



### 活動報告 支援者情報

## ご支援・ご協力、本当にありがとうございます!

紙面の都合上、一部のみ掲載させていただきます。(五十音順)

【施設提供】(一財)日本陶業連盟

【協賛金】キリンホールディングス(株)、(株)清水屋

【助成金】名古屋市

【告知協力】(株)中日新聞社

名古屋市

名古屋リサイクル推進協議会

(株)メディアブレーション(環境情報紙Risa)

【ボランティア】市民リサイクラー(登録者数87名)

※2024年3月末現在

### 活動報告 会員情報

- 会員として活動を支えていただきありがとうございます。今後も、変わらぬご支援をよろしく願いいたします。

※2024年3月末現在

会員種類	人数	会員種類	団体数
個人正会員	20名	団体正会員	12団体
個人賛助会員	116名	団体賛助会員	6団体
学生賛助会員	1名	合計	155名・団体

### 団体情報

## 会員になって活動を支えてください!

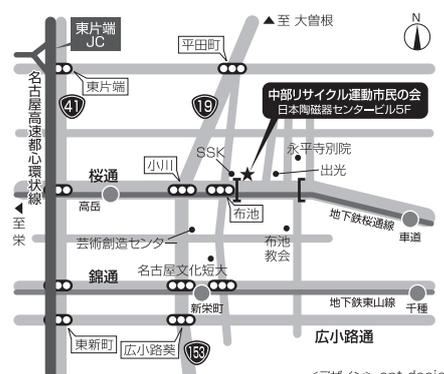
会員特典

- 1.会報を定期的にお届けします。
- 2.主催イベントに割引価格で参加できます。(正会員のみ)

入会ご希望の方はこちらまで

	正会員 (議決権あり)	個人	一口 10,000円
		団体	一口 20,000円
	賛助会員 (議決権なし)	個人	一口 3,000円
		団体	一口 10,000円
		学生	一口 2,000円

### 事務局へのアクセス



認定NPO法人 中部リサイクル運動市民の会

お問い合わせ / 〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル5F TEL.052-982-9079 FAX.052-982-9089

メール [staff@es-net.jp](mailto:staff@es-net.jp) ホームページ <http://www.es-net.jp>

<デザイン> ant design